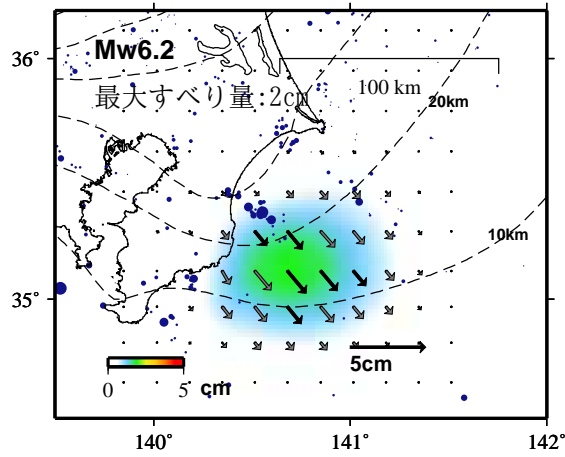
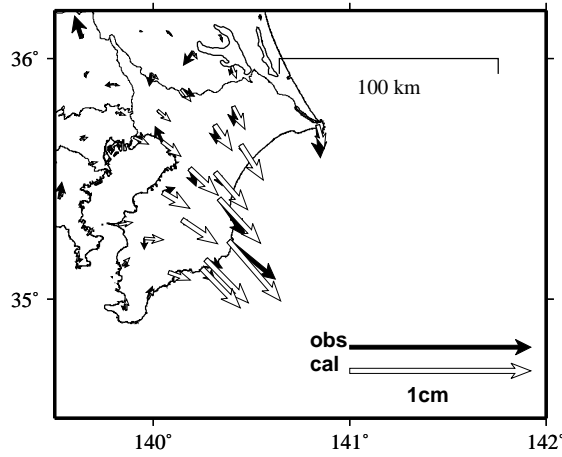


GNSSデータから推定された房総半島沖のゆっくりすべり（暫定）

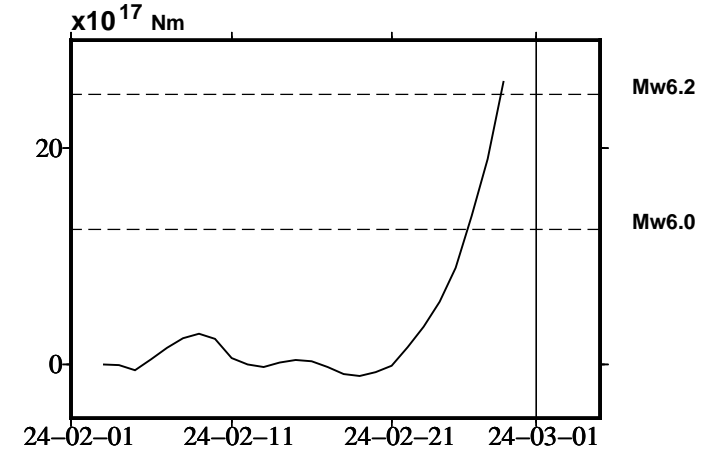
推定すべり分布
(2024-02-04/2024-02-28)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2024-02-04/2024-02-28)



モーメント* 時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2023-09-01/2023-11-11)+R5解(2023-11-12/2024-02-28)

トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 気象庁一元化震源 (期間: 2024-02-24/2024-02-28)

固定局: 八郷

*電子基準点の保守等による変動は補正済み

*共通誤差を推定している

*令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。

*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。